

令和5年度実証実験サポート事業 課題提案票

テーマ 29

地域資源を活用した効率的なエネルギー転換システム

1. 解決したい課題の内容

- ・ 2050年までの二酸化炭素排出実質ゼロに向け、「浜松市域“RE100”^{※1}」の実現を目指している。（浜松市内再エネ電源 ≧ 浜松市内の総電力使用量）
※1 市内の総消費電力に相当する電気を、市内の再エネで生み出すことができる状態
- ・ 太陽光発電の導入が進み、日本一の導入量となっているが、導入件数の鈍化、導入施設の経年劣化や維持管理などが課題となっている。
- ・ 本市は、太陽光、風力、バイオマス、潮汐など豊富なエネルギー源に恵まれているが、太陽光発電以外の再生可能エネルギーの導入が進んでいない。

2. 実現したい目標について

- ・ 地域資源を活用した再生可能エネルギーの導入・利用拡大〈エネルギーの地産地消〉
- ・ 効率的なエネルギー転換システムの確立〈エネルギーイノベーション〉
（例）軽量型アモルファス太陽光発電システム、低騒音・低振動小型風力発電、潮汐発電、バイオマスエネルギーシステム、燃料電池など

3. 必要とする技術について

- ・ 効率的なエネルギー転換につながるシステム技術、事業スキーム。

4. 想定する実証実験（内容・希望時期等）について

- ・ 対象の再生可能エネルギー転換システムを、公共施設、企業、市民モニターなどのテスト導入を行い、システムの効率性、事業採算性などを検証。

5. 課題に関連する事業のホームページ URL

- ・ 浜松市「浜松市は、『浜松市域“RE100”』を実現します。」

<https://www.city.hamamatsu.shizuoka.jp/documents/13411/re100siryou.pdf>